

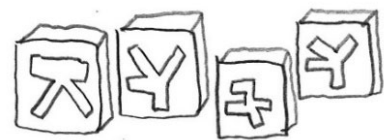
対象：
西区在住
/在勤の方

入場無料

要予約
先着200名

『撫でてあげようとして
手を伸ばした途端に
たまちゃんの中に手がずっと
入って行っちゃったんです。』

目覚めると 幻視が 見えるんです



『麒麟模様の
馬を見た』



レビー小体型認知症をもつ
三橋昭さんが、ほぼ毎日、
目覚めとともに見る幻視を
書きとめたイラストの中から、
約30点を展示します。
同時開催する講演会では、
認知症や幻視への向き合い方
がきっと変わることでしょう。
ぜひご参加ください。

認知症とともにポジティブに生きる

三橋昭 講演会 + 幻視画展

2025

10/27(月) 14:00～15:15
(開場は13:00)

横浜美術館 レクチャーホール
(西区みなとみらい3-4-1)



三橋 昭 みつはしあきら

1949年生まれ。高校卒業後、すぐに映画の助監督をする。その後会社員、自営業を経て、2007年より2021年まで区立図書館の館長（指定管理者）を務める。

2019年にレビー小体型認知症と診断され、ほぼ毎日見える幻視をイラストとともに日記を書いている。

お申込み お電話またはFAXにて（9月29日受付開始・先着順）
※手話通訳の必要な方は10月17日までに要申込み

TEL 045-320-8410 FAX 045-290-3422

主催：西区役所 高齢・障害支援課 共催：横浜美術館

認知症とともにポジティブに生きる 三橋 昭 講演会＋幻視画展 参加申込

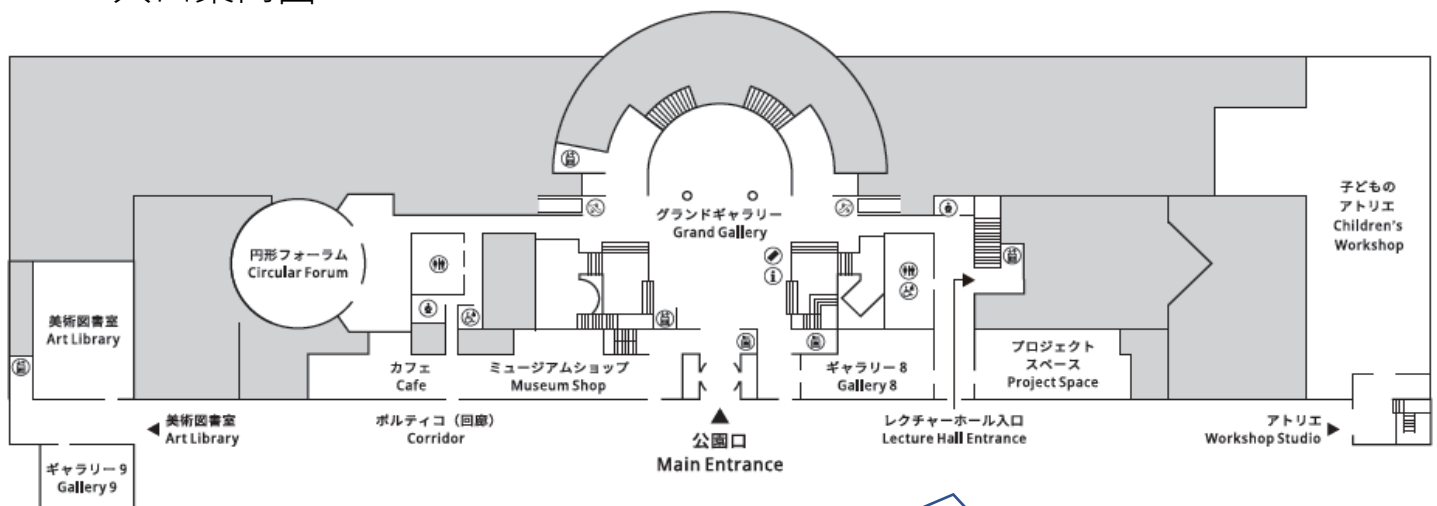
(受付開始；9月29日～ 先着順)

西区役所 高齢・障害支援課 認知症事業担当 宛
FAX番号 045-290-3422

お名前	連絡先	備考（該当するものがあれば○で囲んで下さい）
		車椅子 ・ 手話通訳
		車椅子 ・ 手話通訳



< 入口案内図 >



(グランモール公園側)

※メインエントランスではなく、レクチャーホール専用の入口からお入りください